



安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 1 の 13

1 化学品及び会社情報

製品識別名

help:ex discolor f 6700 0200

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

義歯に付着したタール、コーヒーや紅茶などの頑固なス

安全データシート作成者の詳細

会社名称:街	Renfert GmbH
路名:住所:	Untere Giesswiesen 2
電話番号:電	D-78247 Hilzingen
子メール:担	+49 7731 8208-0 F A X番号:+49 7731 8208-70
当者:電子メ	info@renfert.com
イル:	Frau Andris silke.andris@renfert.com
インターネット:	www.renfert.com

警察署・消防署への非常通話番号: Vergiftungs-Informationen-Zentrale Freiburg, Tel. +49 761 19 240

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

金属腐食性物質: 金属腐食性の物質または混合物 1

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼に対する損傷性/刺激性 1

危険有害性情報:

金属腐食のおそれ。

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

重篤な眼の損傷。

分類は pH値に基づいています (JIS Z 7252)

ラベル要素

EC 規制 No. 1272/2008

ラベルに表示されなければならない有害成分

エタノールアミン

注意喚起語: 危険

安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 2 の 13

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H290 金属腐食のおそれ。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。

危険の予防

P280 保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。
P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

化学特性

洗浄剤、アルカリ性

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
141-43-5	エタノールアミン	1 - < 5 %
	Acute Tox. 4, Acute Tox. 4, Acute Tox. 4, Skin Corr. 1A, Eye Dam. 1, Skin Sens. 1, STOT SE 1, STOT SE 3, STOT RE 1, STOT RE 2, Aquatic Chronic 3; H332 H312 H302 H314 H318 H317 H370 H336 H372 H373 H412	
34590-94-8	ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	1 - < 5 %
	STOT SE 3, STOT SE 3; H335 H336	
22036-78-8	[[[2-ヒドロキシエチル]イミノ]ビス(メチレン)]ビスホスホン酸/ナトリウム	1 - < 5 %
	Met. Corr. 1, Eye Irrit. 2, Aquatic Chronic 3; H290 H319 H412	
1310-58-3	水酸化カリウム	< 1 %
	Met. Corr. 1, Acute Tox. 3, Skin Corr. 1A, Eye Dam. 1, STOT SE 1, STOT RE 1, Asp. Tox. 1; H290 H301 H314 H318 H370 H372 H304	

H-ステートメントの全文：セクション16を参照。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

一般情報

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。

吸い込んだ後に

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断/手当を受けること。

皮膚に付着した後に

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。腐食した傷を治療しなければ治り難くなるので、直ちに医師の手当てが必要である。

目に付着した後に

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼科医の手当、診断を受けること。

葛下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。中和剤を飲ませてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受けること。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。アレルギー反応

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

その製品そのものは燃えない。消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

物質または混合物特有の危険有害性

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出し得る。

消防士のための事前注意事項

火災の場合：自給式呼吸器具を着用すること。

安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 4 の 13

爆発性のガスおよび燃焼生成ガスは、吸入しないこと。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

十分に換気をする。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。
個人用の保護具を使用すること。人々を安全な場所に避難させること。

環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

封じ込めおよび浄化方法と機材

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。適切な密閉容器に回収し、廃棄処分すること。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7 個

人用保護具: 参照箇所 節 8 廃

棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置安全取扱い注意事項

十分に換気をする。容器は、注意深く開いて取り扱うこと。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。
皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。

火災および爆発防護に関するアドバイス

通常の防災対策。

配合禁忌等、安全な保管条件倉庫と容器の需要

容器は、密閉した状態を保つこと。容器は元のものに限り、涼しく換気のよい場所に保管すること。鍵をかけて保管すること。耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

共同貯蔵に関する注意事項

その他の情報については、私共のインターネットのウェブサイトもご参照ください: www.renfert.com
人間と環境への危険を防止するため、使用説明書の内容を守らなければならない。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター物質の許容濃度（日本産業衛生学会）

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範疇	起源
141-43-5	2-アミノエタノール; 2-Aminoethanol	3	7.5		許容濃度	
1310-58-3	水酸化カリウム; Potassium hydroxide	-	2		最大許容濃度	

曝露防止



適切な工学的制御

高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。

保護・衛生対策

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。ガス/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。目や皮膚への接触を避けること。食料品、飲料品および飼料から遠ざけておくこと。

眼/顔面用の保護具

保護メガネ/顔面保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

適した材料: NR (天然ゴム、天然ラテックス)、ブチルゴム

手袋の材質の厚さ: 0,5 mm

破過時間 (最大着用時間) : ≥ 8 h

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。

皮膚の保護

保護衣服

呼吸器の保護

呼吸用保護具を着用すること。

…のときは、呼吸保護具が必要: エアロゾルあるいは、霧の生成

環境における露出管理

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

9 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	液体の
色:	青 (い)
臭い:	土状の
臭気閾値:	確定されていない
pH値 (で 20 ° C):	> 11,5
状態の変化	
融点:	確定されていない

沸点, 初留点及び沸騰範囲:	> 100 °
引火点:	C非該当
引火性	
固体:	非該当
ガス:	非該当
爆発特性	
その製品は、(で) ない: 爆発の危険がある。	
爆発下限:	確定されていない
爆発上限:	確定されていない
発火点:	確定されていない
自然発火温度	
固体:	非該当
ガス:	非該当
分解温度:	確定されていない
酸化特性	
燃焼を促進しない。	
蒸気圧: (で 20 ° C)	23 hPa
密度 (で 20 ° C):	1,01 - 1,03 g/cm ³
水溶性:	完全に混合できる
溶媒に対する溶解性	
確定されていない	
水分係数:	確定されていない
絶対粘度:動	確定されていない
粘度:蒸気密	確定されていない
度:蒸発速	確定されていない
度:	確定されていない

その他の情報

情報は何もない。

10 安定性及び反応性**反応性**

金属に対して腐食性がある。。

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

化学的安定性



安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 7 の 13

この混合物は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応性の可能性

と激しく反応: 酸

反応: 金属

避けるべき条件

情報は何もない。

不適合物質

酸

金属に対して腐食性がある。

危険有害性のある分解生成物

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出し得る。

11 有害性情報**毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
141-43-5	エタノールアミン				
	経口の	LD50(50%致死量) 1089 mg/kg	ラット	ECHA	O E C D 401
	皮膚の	LD50(50%致死量) 1015 mg/kg	ラット	製造者	
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) 14,87 mg/l	ラット	ECHA	
	吸い込んで エアロゾル	急性毒性の推定 1,5 mg/l			
1310-58-3	水酸化カリウム				
	経口の	LD50(50%致死量) 273 mg/kg	ラット	NITE-CHRIIP	



安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 8 の 13

刺激性及び腐食性

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

重篤な眼の損傷。

分類は pH値に基づいています(JIS Z 7252)

感作性影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

詳しい情報

人間と環境への危険を防止するため、使用説明書の内容を守らなければならない。

12 環境影響情報

毒性

水生生物に有害。

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
141-43-5	エタノールアミン					
	藻類毒性	ErC50 mg/l	2.5	72 h	Selenastrum spec	NITE-CHRIP

残留性と分解性

界面活性剤: 生分解性。

CAS番号	化学名					
	方法	評価	値	d	源泉、出典	
141-43-5	エタノールアミン					
	生化学的酸素要求量 (BOD)		83 %		NITE-CHRIP	
	急速分解可能					

生物蓄積性

この混合物のデータはない。

安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 9 の 13

n-オクタノール/水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
141-43-5	エタノールアミン	-1.31

土壌中の移動度

この混合物のデータはない。

他の有害影響

情報は何もない。

詳しい情報

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

人間と環境への危険を防止するため、使用説明書の内容を守らなければならない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄の勧告

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。地下/土壌に至らせてはならない。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

廃棄物処理については、認可を受けた担当の処理業者に相談すること。

汚染した包装

汚れておらず、中身の残っていない包装容器は、再生利用に引き渡すことができる。汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号:	UN 1719
正式の国連輸送名:	CAUSTIC ALKALI LIQUID, N.O.S. (2-aminoethanol; potassium hydroxide)
輸送における危険有害性クラス:	8
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	8
	
特別な設備:	274
量制限:	1 L
微量:	E2
EmS:	F-A, S-B

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 10 の 13

UN番号:	UN 1719	
正式の国連輸送名:	CAUSTIC ALKALI LIQUID, N.O.S. (2-aminoethanol; potassium hydroxide)	
輸送における危険有害性クラス:	8	
包装等級 (P G):	II	
危険物ラベル:	8	
特別な設備:	A3 A803	
量制限-乗客:	0.5 L	
Passenger LQ:	Y840	
微量:	E2	
IATA梱包方指示-乗客:		851
IATA最大数量-乗客:		1 L
IATA梱包指示 (貨物機): IATA		855
最大数量 (貨物機):		30 L

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

使用者のための特別な予防措置

警告: 腐食性の。

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令**物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律****国内規定情報**

従業員制限: 追 若年層への従業員制限に注意する。

加の指摘

消防法: 分類対象外

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法):

エタノールアミン: はい。

化審法官報整理番号: 2-301

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: はい。

化審法官報整理番号: 2-426; 7-97

安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 11 の 13

[[2-ヒドロキシエチル]イミノ]ビス(メチレン)]ビスホスホン酸/ナトリウム: いいえ。

化審法官報整理番号: -

水酸化カリウム: はい。

化審法官報整理番号: 1-369

2-メチルオキシラン・オキシラン重合物のモノ（2-プロピルヘプチル）エーテル: いいえ。

化審法官報整理番号: -

労働安全衛生法（安衛法）:

エタノールアミン: いいえ。

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: いいえ。

[[2-ヒドロキシエチル]イミノ]ビス(メチレン)]ビスホスホン酸/ナトリウム: いいえ。

水酸化カリウム: いいえ。

2-メチルオキシラン・オキシラン重合物のモノ（2-プロピルヘプチル）エーテル:

いいえ。

毒物及び劇物取締法:

エタノールアミン:。

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: いいえ。

[[2-ヒドロキシエチル]イミノ]ビス(メチレン)]ビスホスホン酸/ナトリウム: いいえ。

水酸化カリウム:。

2-メチルオキシラン・オキシラン重合物のモノ（2-プロピルヘプチル）エーテル:

いいえ。

化学物質排出移動量届出制度 (PRTR: Pollutant Release and Transfer Register):

エタノールアミン:

分類: 第一種

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル: いいえ。

[[2-ヒドロキシエチル]イミノ]ビス(メチレン)]ビスホスホン酸/ナトリウム: いいえ。

水酸化カリウム: いいえ。

2-メチルオキシラン・オキシラン重合物のモノ（2-プロピルヘプチル）エーテル: い

いえ。

水質汚濁防止法:

水酸化カリウム: 指定物質

注意すること:

船舶安全法



安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 12 の 13

航空法

大気汚染防止法

土壌汚染対策法

16 その他の情報

略称と頭字語の説明

ATE: Acute Toxicity Estimates

CHRIP: Chemical Risk Information Platform

DGR: Dangerous Goods Regulations

ICAO: International Civil Aviation Organization

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

JIS: Japanese Industrial Standard

UN: United Nations

GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals CAS:

Chemical Abstracts Service

NITE: National Institute of Technology and Evaluation

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

LL50: Lethal loading, 50%

EL50: Effect loading, 50%

EC50: Effective Concentration 50%

ErC50: Effective Concentration 50%, growth rate

NOEC: No Observed Effect Concentration

BCF: Bio-concentration factor

TI: Technical Instructions

OECD: Organisation for Economic Cooperation and Development

DIN: Deutsches Institut für Normung e.V.; German Institute for Standardization ISO:

International Organization for Standardization

EN: European Standard

ISHL: Industrial Safety and Health Law

CSCL: Chemical Substance Control Act

PRTR: Pollutant Release and Transfer Register

PDSCL: Poisonous and Deleterious Substances Control Law

MARPOL: International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships IBC:

Intermediate Bulk Container

TWA: time-weighted average

STEL: Short-term exposure limit



安全データシート

JIS Z 7253

help:ex discolor f

6700 0200

加工された日付: 06.10.2020

ページ 13 の 13

GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Met. Corr. 1; H290	試験データを基にした
Skin Corr. 1; H314	試験データを基にした
Eye Dam. 1; H318	試験データを基にした

H条項の表記(番号および全文)

H290	金属腐食のおそれ。
H301	飲み込むと有毒。
H302	飲み込むと有害。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H312	皮膚に接触すると有害。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318	重篤な眼の損傷。
H319	強い眼刺激。
H332	吸入すると有害。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H370	臓器 (中枢神経系, 呼吸器, 肝臓) に損傷を引き起こす。
H370	臓器の障害。
H372	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系) の障害。長期
H372	にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H373	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器 (呼吸器) の障害のおそれ。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

詳しい情報

この安全データシートの記述は、印刷時点における最良の知見に基づいている。その情報は、この安全データシートに記載されている製品の貯蔵、加工、運搬および処理の際、安全にとりあつかうための手がかりとなるはずですが、その記述は、他の製品に適用することはできない。その製品が他の材料と混ざり合う、または加工されるかぎりでは、又は工程の場合、本製品安全データシートに記載された情報は新しく作られたどんな物質に対して必ずしも有効ではない。

職業としての消費者に限る。